

結婚式・葬式の作法

婚礼や葬儀には、複雑な作法があることをご存じでしょうか。ここでは、急に参列が決まった時に困らないよう、結婚式と葬式の作法の一部を簡単に紹介します。この記事をきっかけに作法を勉強してみてください。

なお作法には宗教や地域によって違いがあります。実際に参列する際には、余裕があれば家族や知人に宗教や地域固有の規定を確認するとよいでしょう。

参考文献：岩下宣子監修 『これ一冊で完ぺき！ マナーのすべてがわかる便利手帳』（ナツメ社）

結婚式

新郎・新婦と色のかぶる白やシルバーの服や、葬式を連想させる全身黒のコーディネートは避けましょう。また、ワニ革・ファーなど殺生を連想させるものや、色や柄が派手なものも身に着けないよう注意が必要です。

服装

〈ネクタイ〉
シルバーグレーと黒のストライプや、光沢のあるシルバーグレーなど…
平服の場合は、明るめの色も可

〈スーツ〉
ブラックスーツかダークスーツ
平服の場合は、紺やグレーのものも可
上着の一番下のボタンはとめないよう注意

〈靴〉
手入れが行き届いた黒色の革靴

〈髪型〉
アップスタイルなど清楚な印象に

〈アクセサリ〉
光沢を抑えたもの
※披露宴では光るもの

〈ドレス〉
露出が多い場合にはボレロやストールを羽織るとよい
※披露宴では露出推奨

〈足元〉
ベージュのストッキング
ヒールのある靴

葬式

遺族や近親者は正式な喪服を着用しますが、一般の弔問客は準喪服で構いません。弔問や通夜に関しては、地味な服装であれば喪服を着用する必要はありません。ここでは葬式の準喪服について説明します。

服装

〈服〉
ブラックスーツが一般的
濃紺やダークグレーのスーツも可…
シャツは白無地、ネクタイは黒

〈靴・アクセサリ〉
靴は黒や濃いグレーのシンプルなもの…
時計やアクセサリは外す

〈足元〉
靴は黒の光沢のないもの…
靴下も黒

〈髪型・メイク・アクセサリ〉
だらしない印象にならないような髪型
薄化粧で、派手な色の使用を避ける
パールネックレスなどを着用

〈服〉
黒のワンピース、アンサンブル、スーツなど
紺やグレーなど地味な色の略式喪服も可

〈足元〉
ストッキングは黒無地のものが基本
パンプスは黒

祝い事には必ずのし付きのものを使用します。また結婚式など一度きりであってほしい事柄には、結び目が固いことから繰り返すことがないという意味を持っている結び切りの水引を用います。あらゆる事に広く使える飽結びの水引を用いるのもよいでしょう。

のし袋

〈表書き〉
濃い墨の筆ペンや毛筆を使用…
「寿」、「御結婚御祝」、「御祝」などと記入

〈水引〉
紅白や金銀など

〈贈り主の氏名〉
濃い墨の筆ペンや毛筆を使用…
短冊が付いている場合は短冊に記入

苗字名前

金 参萬円

新券を表が上になるように入れる
友人や同僚の場合は3万円が一般的
2・8・10を除いて、一万の位以降が
偶数になる額は避ける

金額の記入には、正式には大字（壱・弍・参など）を用いる

裏面の左端に住所と名前を記入

中包み

不祝儀の場合はのし付きのものは使用せず、四十九日の前後で表書きや墨の濃さが異なります。また、宗教によって使用する不祝儀袋や表書きが異なるので注意が必要です。ここでは葬式についてのみ説明します。

のし袋

〈表書き〉
薄墨の筆ペンや毛筆を使用
表書きは宗教によって異なるが、「御霊前」…
ならば宗教を問わず記入可能

〈水引〉
黒白や双銀など

〈贈り主の氏名〉
薄墨の筆ペンや毛筆を使用…
短冊が付いている場合は短冊に記入

御霊前

苗字名前

新券を使用してはいけない
表が上になるように入れる
相場は間柄や地域によって異なる
一万の位が4・6・9になる額は避ける

金額の記入には、正式には大字を用いる

裏面の左端に住所と名前を記入

中包み

婚礼では、不幸・不吉な言葉や、不幸を想起させる言葉を使わないことが望ましいです。神経質になりすぎる必要はありませんが、スピーチなどを頼まれた際は別の言葉に言い換えるよう心掛けましょう。

忌み言葉

- 〇別れを連想させる言葉**
例：別れる、切る、離れる、破れる、分ける、終わる など
- 〇不幸・不吉な言葉**
例：死ぬ、失う、なくなる、病む、負ける、悲しむ、嫌う など
- 〇重ね言葉**
例：戻る、繰り返す、再び、再度、二回、いろいろ、たびたび など

葬儀では、遺族を気遣って生死を意味する生々しい表現や、不幸が続くことを連想させるような表現を使わないように注意しましょう。また、他宗教の概念の言葉も使用しないように気をつけましょう。

忌み言葉

- 〇生死を意味する生々しい表現**
例：死亡、死ぬ、生きる、ご存命 など
- 〇繰り返すことを連想させる言葉**
例：再び、追って、次に、また、重ね重ね、引き続き、たびたび など
- 〇宗教上問題のある言葉**
仏式の例：浮かばれない、迷う、他宗教の言葉（例：天国） など